

# 事務所からのお知らせ

## ● 平成21年度 静岡営繕事務所安全連絡会議を開催

平成21年7月7日に、静岡県看護協会会館第一研修室において、「平成21年度 静岡営繕事務所安全連絡会議」を開催しました。

施工業者、監理事務所など延べ47人が参加した連絡会議は、施工中の現場における安全管理の啓発を目的とし開かれました。



波佐間進所長=写真(右上)=は事故の起きる背景に“慌てる”、“面倒がる”という人間の持っている本性があるため、それらを原因としない為には、ルールが必要になり、また、安全に対する教育が現場に結びつくと話し、自然にルールが守られる教育と作業員一人ひとりのコミュニケーションを大切にすることが肝要だと結んだ。

安全講話として、静岡労働局労働基準部安全衛生課 杉山主任産業安全専門官=写真(右下)=が6月1日から施行された労働安全衛生規則の改正点について説明した。また、建設業退職金共済事業本部企画調整課 中根課長代理が建退共制度の説明を行った。

中部地方整備局営繕部技術・評価課 横井係長は最近の事故例について解説し、「工事事故と入札参加資格には密接な関連があり、安全対策は重要な意味がある」「日頃の啓もう活動と、現場での注意喚起や教育、作業打合せなどを記録に残すことも大切」と説明した。

現場における安全パトロールを視点を、木内建設、大藤建設の2社が発表を行い、それぞれ現場で取り組んでいる安全対策、安全管理のポイントなどを紹介した。

